

コード	401030801
記入日	H26.6.6

課コード	116
課名	水産課
課長名	石司 泰栄
担当者	濱口 友司

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	漁村再生交付金事業（漁場整備事業）
----------	-------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 24 年度 ～ 平成 30 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	6
施策コード	401	施策名称	水産業の振興	項コード	3
基本事業コード	40103	基本事業名称	水産業基盤整備の推進	目コード	4
事務事業コード	4010308	事務事業名称	国庫補助事業費（漁村再生交付金）	細目コード	1051
関連計画		法令・条例規則等	漁港漁場整備法		

## 計画（PLAN）

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 漁業者	(対象指標1) 1,370人（正組）					
(対象2)	(対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・自然石のマウンド上に食害防止ネットを付した藻場礁を設置し、その周辺に以後2ヶ年にわたり単年生海藻の延縄式増殖を行い、次年度に効果調査を行う。併せて魚礁による漁場造成も行つ。 →藻場造成 5箇所 (奈摩2箇所、有川、小串、若松) →漁場造成 1箇所（奈摩） →藻場調査 10件	(平成25年度) ・奈摩漁場1工区において藻場の基礎工5,000㎡、藻場礁設置16基、同2工区において藻場の基礎工5,000㎡の整備を行った。	① 藻場・漁場造成	1箇所	16.6%	藻・漁場造成箇所÷	平成30年度
		藻場・漁場造成	1箇所	50%	藻・漁場造成計画	平成25年度
		(達成率分析)	奈摩漁場1工区の藻場礁16基を設置した。			
		② 藻場調査	3件	30%	調査件数÷	平成30年度
		藻場調査	1件	50%	計画件数	平成25年度
		(達成率分析)	有川漁場1箇所の調査測量を実施した。			
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
・藻場の造成を行い、資源の回復を図り、漁場の生産力向上と漁獲量の増大により、漁業経営の安定に資する。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)	
	① 漁場生産力の向上	-	-	-	平成30年度	
		(達成率分析)	藻場の造成を行い、資源の回復を図り、漁場の生産力向上と漁獲量の増大により、漁業経営の安定が図られる。			
		②				
		(達成率分析)				

## 実施（DO）

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降		
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画		
活動指標	① 箇所	6	1		2	1	3	1	1			
	② 件	10	3	2	2	1	1	1	2	1		
成果指標	①											
	②											
総事業費 C (A+B)	千円	248,210	64,612	3,600	67,410	61,012	83,200	40,200	41,500	5,500	6,800	
直接事業費 A	千円	227,910	59,012	1,500	63,910	57,512	79,700	36,700	38,000	3,400	4,700	
人件費 B	千円	20,300	5,600	2,100	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	2,100	2,100	
内訳	従事職員数	人	2.9	0.8	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	0.3	
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	
Cの財源内訳	国補助金	千円	141,067	35,294	787	42,780	34,507	47,820	22,020	22,800	2,040	2,820
	県補助金	千円	56,270	15,686	350	12,589	15,336	21,253	9,786	10,133	906	1,253
	起債	千円	29,200	8,800	400	8,400	8,400	10,600	4,800	5,000		
	その他	千円										
一般財源	千円	21,673	4,832	2,063	3,641	2,769	3,527	3,594	3,567	2,554	2,727	

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	沿岸域の藻場が減少したことにより、磯根資源が減少し、天然漁場の効用の低下が見られている。そのため、藻場礁の設置により藻場形成機能を補完し、藻場の創出と磯根生物の生産性を高める必要がある。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	食害防止網内部の母藻が成長・繁茂することにより、周辺に整備した自然石（着定基質）への種子供給が期待できる。また、磯周辺に単年性海藻を延縄式で設置することで、複数種の藻場造成を試みるとともに魚類からの食圧を分散させる効果を持たせる。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	食害生物の駆除・管理を行うことで、保護網外の幼体が保護でき、藻場造成の促進を可能とする。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	長崎県の標準歩掛により実施している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	国庫補助事業で実施している。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	藻場の造成、魚礁の設置等により漁場の環境を整えることで漁獲量の増加が期待でき、魚家の経営の安定化が図られるものである。事業の進捗とともに、本事業の有効性、効果を検証していくこと。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。